

# 社会科学の学習指導・評価 に関する実践研究

最終更新日：2015年7月9日

社会科学教育講座  
教授  
豊 啓 司

キーワード

・社会科学／公民科 ・授業づくりと実践 ・学習のための評価

研究シーズの説明（私は、このような研究に取り組んでいます。）

私は、社会諸科学の成果に拠る理論と教育現場での社会科学実践、双方から社会科学教育の本質を踏まえた学習指導を探っています。近年は特に、パフォーマンス評価や逆向き設計など21世紀型学力の視点から、他者との関係構築思考をもとに、市民的資質育成の指導・評価について研究しています。

具体的には、次の3つの「かかわり」の知から、社会科学の指導・評価について明らかにしようとしています。

- (1) **係わり**: 社会事象間の関係 → 社会認識内容としての関係, 事実関係／価値関係  
・関係構築の要素としての事実認識 ・個別的关系認識 ・概念的関係認識 ・価値関係認識
- (2) **関わり**: 認識主体間の関係 → 社会認識方法における相互作用としての協働関係  
・他者への自己認識の説明 ・他者認識の活用(引用・援用・批判・妥協・調整など)  
・議論など他者との直接的な対話的交渉
- (3) **拘わり**: 社会事象と認識主体の関係 → 参加を促す状況(課題)提示としての関係  
・現実社会への参加要請としてのパフォーマンス課題 ・協働学習への参加要請としてのパフォーマンス課題

係わり

- ・事実関係
- ・価値関係

関わり

- ・他者との協働
- ・議論や交渉

拘わり

- ・社会形成／参加
- ・パフォーマンス課題

成果の応用可能性（私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。）

私の研究成果は、小・中・高等学校で社会科学や公民科の実践指導に当たる際に、「かかわり」の知に基づく授業設計及び評価の枠組みを提供することができます。

例えば、学校単位であれば、校内研究主題としての社会科学構想から、全学年にかかわる指導・評価のカリキュラム設計、各学年や分野ごとの単元設計のお手伝いができ、学級単位であれば、具体的な社会科学の授業実践についての代案を伴う具体的な指導や助言がが可能です。

また、私の研究成果は、社会科学における指導と評価の一体的な授業実践開発へとつながります。特に、社会科学の市民的資質育成については、パフォーマンス課題によるワークシートや評価問題づくり、評価指標(ルーブリック)の設定などについて具体事例による指導や助言が可能です。

これらの研究成果は、社会科学に留まらず、教科・領域及び総合的な学習の時間を関連付けた広領域な資質・能力を見取るためのパフォーマンス評価として、校内研究におけるカリキュラムの成果を明らかにするうえでも効果的な方法として活用できます。

社会科学

授業設計

実践指導

新しい評価

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・福岡県中学校社会科学教育研究会研大会(直方鞍手地区開催)研究協力 平成26～27年度
- ・福岡県中学校社会科学教育研究会研大会(南筑後地区開催)研究協力 平成27～28年度
- ・福岡市中学校社会科学教育研究会研修会講師 平成25年度
- ・福岡県教育センターキャリアアップ講座:小中学社会科学講師 平成17～27年度
- ・福岡市教育センター中学校社会科学教科研究総会:平成18, 23, 24, 26年度
- ・北九州市教育センター社会科学研修会:平成19年度
- ・大阪府豊中市教育センター社会科学研修会:平成25年度
- ・平成27年度福岡県社会科学教育研究協議会筑豊部会会長
- ・岡垣町立内浦小学校との共同研究(本学と内浦小との共同研究) 平成24～25年度
- ・嘉麻市立稲築東中学校との共同研究 平成22～23年度 など